

## 漫画の登場人物の顔の分析

三浦直是

地域教育文化学部 生活総合学科 卒業生

山本広志

地域教育文化学部 生活総合学科

(平成22年10月1日受理)

日本漫画は登場人物が日本人設定であっても白人をモデルとして描かれている、とする説がある。この説を検証するため、人気漫画60作品の主要登場人物60名について、顔に占める目口鼻の寸法の比率、顔の縦横比、髪瞳肌の色を分析し、日本人および白人と比較した。その結果、顔に占める目口鼻の寸法の比率と顔の縦横比は、漫画の登場人物が日本人か白人かのどちらか片方に近いということはなく、実在の人間とはかけ離れた傾向を示した。また、男性向け漫画の髪瞳肌の色は日本人に近く、女性向け漫画の髪と瞳の色は多彩で人類には本来あり得ない色もしばしば描かれ、同じ登場人物がその時々によって異なる色で描かれることも珍しくなかった。

### § 1. 序

漫画は第二次世界大戦後日本で大きな発展を遂げた。かつては低俗な娯楽だとされていた漫画も、今では日本が世界に誇る文化として認知されるようになってきた。漫画やアニメをきっかけとして海外で外国人が日本語を学び始めることもごく普通のこととなった。産業としての規模で言うと、漫画雑誌と漫画単行本の国内売上だけで年間4,000億円を超え<sup>1)</sup>、アニメやキャラクターグッズ等を含めた広義の漫画産業では国内市場規模は2兆円と言われている。また、漫画の価値が認知されるに連れて漫画研究も盛んに行われるようになった。2001年には日本マンガ学会が、2006年には京都精華大学マンガ学部が設立されている。

とは言え漫画研究が盛んになってから日が浅く、まだまだ分からない点が多い。その一つに、日本漫画が世界に受け入れられたのは「登場人物が日本人設定であっても白人をモデルにしているからだ」とする説がある。例えば、ショットは「日本人キャラクターを大きい瞳の白人的ルックスで描く傾向は定着した」「欧米化ないし国際化された姿でキャラクターが描かれているからこそ、日本の漫画やアニメは欧米人に受け入れやすかった。その結果、今日のように世界中で人気を博すことができたのだ。」<sup>2)</sup>と述べている。しかしその根拠は示されず、この点に関する論証はその後も行われていない。

## § 2. 研究目的および方法

筆者らは日本漫画の登場人物が白人をモデルに描かれているという説に疑問を持った。そこで人気漫画の登場人物を分析し、検証を行うこととした。

男性向け漫画と女性向け漫画からそれぞれ単行本国内累計発行部数上位30作品を選び、合計60作品の主要登場人物60名を調査対象とした。分析は次の11項目について行った。

- (1) 顔に占める瞳の寸法の比率
- (2) 顔に占める眼裂幅の寸法の比率
- (3) 顔に占める眼裂高の寸法の比率
- (4) 顔に占める口裂幅の寸法の比率
- (5) 顔に占める唇高の寸法の比率
- (6) 顔に占める鼻幅の寸法の比率
- (7) 顔に占める鼻長の寸法の比率
- (8) 顔の縦横比
- (9) 髪の色
- (10) 瞳の色
- (11) 肌の色

比較対象として当初は人類学上の知見を用いることを検討した。しかしながら漫画はしばしば単純化した画で人物の特徴を表現するという特性があり、人類学とは視点が異なる。人類学では当然ながら実寸を扱うが、漫画では実寸は意味をなさない。また、人類学では骨の位置を基準とすることがあるが、漫画では骨の位置を確認できない。こうしたことから、人類学上の知見は比較対象に適さなかった。そこで日本人および白人の芸能人各20名、計40名の写真で漫画と同じ分析を行い、比較対象とする。

## § 3. 結果及び検討

### 3.1 分析対象とする漫画の登場人物の選定

漫画単行本の国内累計発行部数を調べ、男性向け漫画と女性向け漫画のそれぞれ発行部数上位30作品を選んだ。(表1～2) ただ、雑誌と違って単行本は発行部数の統計が存在せず、正確な部数は分からない。やむを得ず信頼性の低いインターネットの情報に頼った作品もある。しかしできる限りの情報を集め、各30作品を選定した。分析対象は各作品から1名ずつとし、表の「主要登場人物」欄に記載した。「主要登場人物」は原則として主人公であるが、主人公が複数いる場合は、より中心的と思われる1名を選んだ。

### 3.2 比較対象の選定

比較対象の日本人は、オリコン「“最も美しい”男性ランキング」<sup>24)</sup>「“最も美しい”女性ランキング」<sup>25)</sup>の男女10名ずつ計20名を選んだ。白人は *People* 「100 MOST beautiful」<sup>26)</sup> から白人男女10名ずつ計20名を写真の大きい者から抽出した。(表3～4) 今回は「白人」の定義には立ち入らず、写真の外見が白人のように感じられれば白人とした。今回選定した比較対象は日本人や白人の平均からずれていることも予想される。しかしながら漫画の

表1 男性向け漫画の累計発行部数上位30作品と主要登場人物

作品名(初出年)	主要登場人物名	累計発行部数
ドラゴンボール (1984)	孫悟空	1億5000万部 <sup>3)</sup>
こちら葛飾区亀有公園前派出所 (1976)	両津勘吉	1億4000万部 <sup>3)</sup>
名探偵コナン (1994)	工藤新一	1億1200万部 <sup>3)</sup>
ONE PIECE (1997)	モンキー・D・ルフィ	1億1000万部 <sup>3)</sup>
SLAM DUNK (1990)	桜木花道	1億1000万部 <sup>3)</sup>
ゴルゴ13 (1968)	デューク東郷	1億部 <sup>3)</sup>
美味しんぼ (1983)	山岡士郎	1億部 <sup>3)</sup>
ドラえもん (1969)	野比のび太	1億部 <sup>3)</sup>
はじめの一歩 (1989)	幕之内一歩	7010万部 <sup>3)</sup>
三国志 (1971)	劉備玄德	7000万部 <sup>4)</sup>
金田一少年の事件簿 (1992)	金田一一	6720万部 <sup>3)</sup>
タッチ (1981)	上杉達也	6700万部 <sup>3)</sup>
BLEACH (2001)	黒崎一護	6700万部 <sup>5)</sup>
NARUTO-ナルト- (1999)	うずまきナルト	6000万部 <sup>3)</sup>
キャプテン翼 (1981)	大空翼	6000万部 <sup>3)</sup>
キン肉マン (1979)	キン肉スグル	6000万部 <sup>3)</sup>
シュート! (1990)	田仲俊彦	6000万部 <sup>6)</sup>
H2 (1992)	国見比呂	5500万部 <sup>7)</sup>
らんま1/2 (1987)	早乙女乱馬	5300万部 <sup>3)</sup>
北斗の拳 (1983)	ケンシロウ	5000万部 <sup>3)</sup>
幽☆遊☆白書 (1990)	浦飯幽助	5000万部 <sup>3)</sup>
ろくでなしBLUES (1988)	前田太尊	5000万部 <sup>3)</sup>
るろうに剣心-明治剣客浪漫譚- (1994)	緋村剣心	5000万部 <sup>3)</sup>
ジョジョの奇妙な冒険 (1987)	空条承太郎	5000万部 <sup>3)</sup>
DRAGON QUEST-ダイの大冒険- (1989)	ダイ	5000万部 <sup>3)</sup>
グラップラー刃牙(続編を含む) (1991)	範馬刃牙	5000万部 <sup>8)</sup>
GTO (1997)	鬼塚英吉	5000万部 <sup>9)</sup>
ブラック・ジャック (1973)	間黒男	4564万部 <sup>10)</sup>
クレヨンしんちゃん (1990)	野原しんのすけ	4300万部 <sup>3)</sup>
バガボンド (1998)	宮本武蔵	4130万部 <sup>3)</sup>

※ 「鉄腕アトム」は主人公がロボットで主人公に匹敵する他の登場人物もいないため除外  
 「サザエさん」は男性向け女性向けという分類の枠にはまらないため今回は除外

登場人物は、しばしば平均よりもある種の理想を基準として描かれると考えられることから、今回の比較対象はむしろ適切であると考えられる。

### 3.3 顔に占める目の寸法の比率

最初に、序で触れた瞳の寸法比率を分析した結果を示す。(図1) グラフの横軸は瞳の横幅が耳を除いた顔の横幅に占める割合(片目分)を%で表し、縦軸はその出現頻度を横軸2.5%刻みで表した。男性向け漫画の登場人物は最大頻度が10%で平均値が9.9%だったのに対し、女性向け漫画の登場人物は最大頻度も平均値も同じく15%だった。男性向け漫画では瞳が20%に達する登場人物は皆無だが、女性向け漫画では瞳が20%に達する登場人物も25%以上おり、瞳の大きさが明らかに異なる。昔から「少女漫画は眼が大きい」と言われるが、そのことが数値で裏付けられた。

これに対して実際の日本人は最大頻度が10%、平均値が8.9%で、白人は最大頻度が7.5%、平均値が8.3%だった。日本人の方が顔に占める瞳の寸法が大きく、序で触れた「大きい瞳の白人的ルックス」という前提自体が疑わしいということが分かった。さらに、男性向け漫画では最大頻度が日本人と同じ10%であり、「大きい瞳」という前提すら疑わしい。

また、実際の人間は7.5~10%に鋭いピークがあるが、漫画では幅広く分散している。日

表2 女性向け漫画の累計発行部数上位30作品と主要登場人物

作品名(初出年)	主要登場人物名	累計発行部数
花より男子(1992)	牧野つくし	6000万部 <sup>3)</sup>
NANA(1999)	大崎ナナ	4000万部 <sup>3)</sup>
王家の紋章(1977)	キャロル・リード	3600万部 <sup>3)</sup>
ガラスの仮面(1976)	北島マヤ	3340万部 <sup>3)</sup>
ちびまる子ちゃん(1986)	さくらももこ	3000万部 <sup>3)</sup>
のだめカンタービレ(2001)	野田恵	3000万部 <sup>11)</sup>
有閑倶楽部(1981)	剣菱悠里	2700万部 <sup>12)</sup>
ときめきトゥナイト(1982)	江藤蘭世	2570万部 <sup>13)</sup>
あさりちゃん(1978)	浜野あさり	2500万部 <sup>13)</sup>
パタリロ!(1978)	パタリロ・ド・マリネール8世	2115万部 <sup>13)</sup>
スケバン刑事(1976)	麻宮サキ	2000万部 <sup>14)</sup>
ベルサイユのばら(1972)	オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ	2000万部 <sup>15)</sup>
生徒諸君!(1977)	北城尚子	1920万部 <sup>3)</sup>
赤ちゃんと僕(1991)	榎木拓也	1770万部 <sup>13)</sup>
動物のお医者さん(1987)	西根公輝	1680万部 <sup>13)</sup>
ぼくの地球を守って(1987)	坂口亜梨子	1560万部 <sup>13)</sup>
フルーツバスケット(1998)	本田透	1500万部 <sup>3)</sup>
エースをねらえ!(1973)	岡ひろみ	1500万部 <sup>16)</sup>
B A S A R A(1990)	更紗	1500万部 <sup>13)</sup>
あさきゆめみし(1979)	光源氏	1400万部 <sup>13)</sup>
花ざかりの君たちへ(1996)	芦屋瑞稀	1300万部 <sup>17)</sup>
イタズラなKiss(1990)	相原琴子	1300万部 <sup>13)</sup>
ふしぎ遊戯(1992)	夕城美朱	1300万部 <sup>13)</sup>
ビーチガール(1997)	安達もも	1300万部 <sup>18)</sup>
X(1992)	司狼神威	1200万部 <sup>19)</sup>
カードキャプターさくら(1996)	木之本桜	1200万部 <sup>20)</sup>
キャンディ♥キャンディ(1975)	キャンディス・ホワイト・アードレー	1200万部 <sup>13)</sup>
ラブ★コン(2001)	小泉リサ	1200万部 <sup>21)</sup>
美少女戦士セーラームーン(1991)	月野うさぎ	1200万部 <sup>22)</sup>
花のあすか組!(1985)	九楽あすか	1135万部 <sup>23)</sup>

本人と白人の差よりも、漫画の登場人物と実際の人間の差の方が遙かに大きい。

次に、眼裂幅と眼裂高を瞳と同様の方法で分析した。眼裂幅とは目頭から目尻までの長さのことをいい、眼裂高とは瞼を開いた状態で瞼の開いた高さのことをいう。眼裂幅は耳を除いた顔の横幅に占める割合(片目分)を%で表し、眼裂高は髪を除いた頭頂から顎の下端までの長さの割合を%で表した。漫画では厚い毛髪が描かれる場合があり頭頂部を直接求めることが難しい作品もあるが、その場合は顔の輪郭から滑らかに自然な曲線を当てはめて頭頂部を求めた。分析結果は、眼裂幅でも瞳と同様の傾向が見受けられる。(図2) 即ち、女性向け漫画は眼裂幅が大きく、男性向け漫画の眼裂幅の最大頻度は日本人と同じであり、日本人の眼裂幅は白人よりも大きい。

これに対して、眼裂高は男性向け漫画の傾向がやや異なる。(図3) 女性向け漫画は最大頻度が15%、平均値が13%と大きいのは同様だが、男性向け漫画も最大頻度が10%、平均値が12%と実際の人間よりかなり大きい。実際の間人は日本人も白人も最大頻度が同じく5%で、平均値は日本人が4.7%、白人が3.9%だった。このことから、漫画の登場人物の目が実際の間より円に近く描かれるという傾向が分かった。また、瞳や眼裂幅と同様に白人よりも日本人の方が眼裂高が大きい。

以上のように、眼の描き方からは漫画の主人公が白人に近いとは言えない。強いて言えば眼の大きい日本人に似ているということになるが、漫画に描かれる人間離れした極端な眼の大きさに較べれば日本人と白人の差は遙かに小さい。

表3 オリコン「“最も美しい”男性ランキング」<sup>24)</sup>と「“最も美しい”女性ランキング」<sup>25)</sup>の日本人

男性	女性
水嶋ヒロ	藤原紀香
GACKT	吉永小百合
福山雅治	仲間由紀恵
木村拓哉	小雪
hyde	黒木瞳
玉木宏	松嶋菜々子
岡田准一	伊東美咲
堂本光一	竹内結子
滝沢秀明	柴咲コウ
谷原章介	黒木メイサ

表4 *People* 「100 MOST beautiful」<sup>26)</sup>から抽出した白人

男性	女性
Jimmy Fallon	Christina Applegate
Matthew David McConaughey	Jennifer Lopez
Hugh Michael Jackman	Chelsea Joy Handler
Robert Pattinson	Amanda Laura Bynes
Sam Kass	Cindy Crawford
Jon Hamm	Claire Catherine Danes
Gilles Marini	Julia Anderson
Patrick Dempsey	Kara Elizabeth DioGuardi
Nathan Thomas	Kristen Wiig
Paul William Walker	Amy Poehler

### 3.4 顔に占める口の寸法の比率

次に、口裂幅と唇高を同様の方法で分析した。口裂幅とは口を閉じた状態で口の裂け目の長さをいい、唇高とは口を閉じた状態で上唇と下唇の縦の長さの合計をいう。口裂幅は耳を除いた顔の横幅に占める割合を%で表し、唇高は頭頂から顎の下端までの長さに占める割合を%で表した。

口裂幅は男性向け漫画も女性向け漫画も同じく25%が最大頻度で、平均値は男性向け漫画が28%、女性向け漫画が24%だった。(図4) どちらも分布が広く、5%以下の短い口から80%近い長い口まで様々だった。

実際の人間は日本人の最大頻度が35%、日本人の平均値が37%、白人の最大頻度が40%、白人の平均値が39%で、白人の方が口裂幅がやや大きい。漫画の登場人物は日本人に近いが、日本人と白人の差は漫画の登場人物と実際の人間の差よりもずっと小さい。

次に唇高は、男性向け漫画も女性向け漫画も同じく5%が最大頻度で、平均値は男性向け漫画が4.5%、女性向け漫画が4.0%だった。(図5) 男性向け漫画でも女性向け漫画でも口が一本の線のみで描かれる登場人物がかなりある。この場合は唇高が0となり平均値を押し下げている。また、反対に唇が極端に分厚く描かれる例もあった。

実際の人間は日本人の最大頻度が7.5%、日本人の平均値が7.7%、白人の最大頻度が漫画と同じ5%、白人の平均値が6.1%で、口裂幅とは反対に日本人の方が唇高がやや大きい。その結果唇高は白人の方が漫画の登場人物に近い。しかし日本人と白人の差が漫画の登場人物と実際の人間の差よりもずっと小さいという点に変わりはない。

以上のように、口の描き方からは漫画の登場人物が日本人と白人のどちらに近いとも言えない。線のみで描かれる口や極端に分厚い唇など、漫画には実際の人間とはかけ離れた表現が登場する。

### 3.5 顔に占める鼻の寸法の比率

次に、鼻幅と鼻長を同様の方法で分析した。鼻幅は鼻の横幅が耳を除いた顔の横幅に占める割合を%で表し、鼻長は鼻の縦の長さが頭頂から顎の下端までの長さに占める割合を%で表した。

鼻幅は、男性向け漫画の最大頻度が5%、女性向け漫画の最大頻度が12.5%で、平均値は男性向け漫画が14%、女性向け漫画が8.1%だった。(図6) 男性向け漫画でも女性向け漫画でも鼻が全く描かれない作品があり、その場合は鼻幅も鼻長も0とした。男性向け漫画には鼻幅が30%を超える作品があるのに対し、女性向け漫画は鼻の全く描かれない作品が多く、最大頻度と平均値の逆転が起こっている。実際の間人は鼻幅がずっと大きく、日本人の最大頻度が25%と27.5%で並び、白人の最大頻度は25%、平均値は日本人と白人が同じ26%だった。日本人と白人はほとんど差が無い。

鼻長は、女性向け漫画の最大頻度が5%だが、男性向け漫画の最大頻度は5%と17.5%と25%が並んだ。(図7) どちらも0%から25%まで幅広く分布している。平均値は男性向け漫画が15%、女性向け漫画が11%だった。実際の間人は日本人の最大頻度が22.5%、日本人の平均値が22%、白人の最大頻度が20%、白人の平均値が21%だった。鼻長も日本人と白人はほとんど差が無い。

漫画における鼻の大きさは目や口に比べてさらに幅広い。鼻の描き方からは漫画の登場人物が日本人と白人のどちらに近いとも言えない。

### 3.6 顔の縦横比

耳を除いた顔の横幅を、頭頂から顎の下端までの長さで割った値を%で求めた。値が小さいほど縦長の顔になり、値が100%に近いほど丸顔になる。実際の間人ではあり得ない100%を超える横長の顔も漫画には描かれる例があった。

グラフの横軸は顔の縦横比を%で表し、縦軸はその出現頻度を横軸2.5%刻みで表した。(図8) 男性向け漫画の最大頻度は67.5%、75%、77.5%が並び、なだらかな山を形作っている。女性向け漫画の最大頻度は70%だった。平均値は男性向け漫画が77%、女性向け漫画が72%だった。実際の間人では日本人も白人も65%が最大頻度で、平均値も日本人と白人が同じ64%で差が無かった。

全般に、漫画の方が実際の間人よりも丸顔に描かれているということが分かった。漫画と実際の間人の差に比べて日本人と白人は差が無く、顔の縦横比からは漫画の登場人物が日本人と白人のどちらに近いとも言えない。

### 3.7 髪の色、瞳の色、肌の色

男性向け漫画の登場人物の髪の色は、黒色が83%、赤色と金色が各7%、橙色が3%だった。髪の色は大多数が日本人と一致する。金髪は白人に良くある色ではあるが、日本では若者を中心として男女を問わず髪を染めるおしゃれの一種が定着しており、毛髪を染色した日本人をモデルとしている可能性もある。赤色や橙色の毛髪は比較対象の白人には一人もおらず、白人の一般的な髪の色とは言えない。

男性向け漫画の瞳の色は、黒色が80%、青色が13%、赤色と茶色が各3%だった。これも大多数が日本人と一致する。ただ、青色は白人の瞳として一般的な色と言える。金髪と

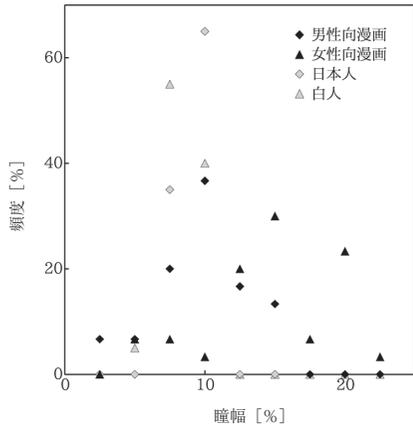


図1 瞳 幅

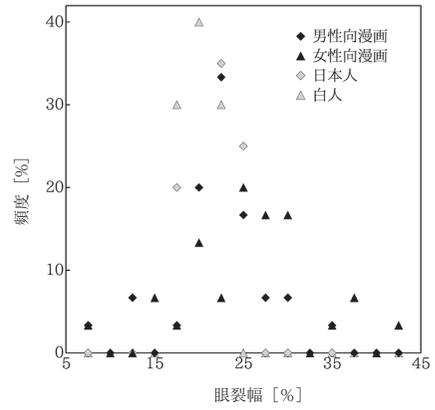


図2 眼 裂 幅

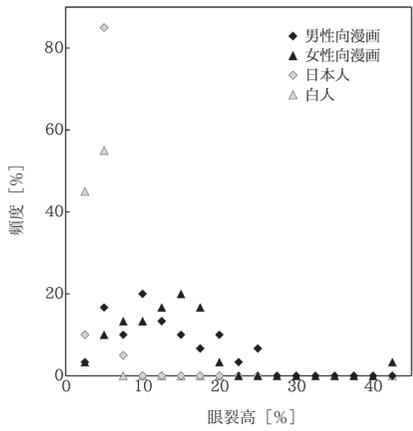


図3 眼 裂 高

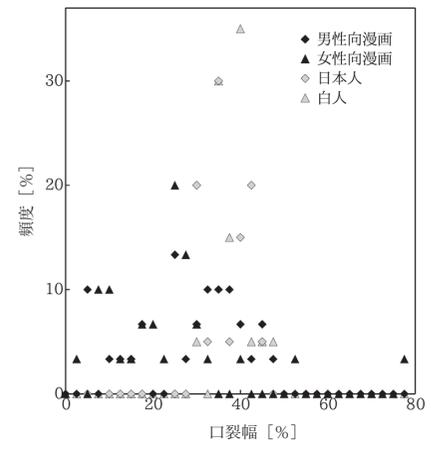


図4 口 裂 幅

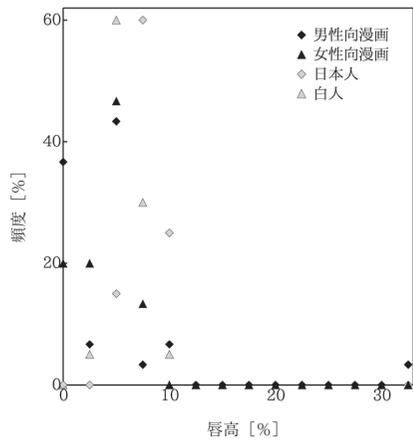


図5 唇 高

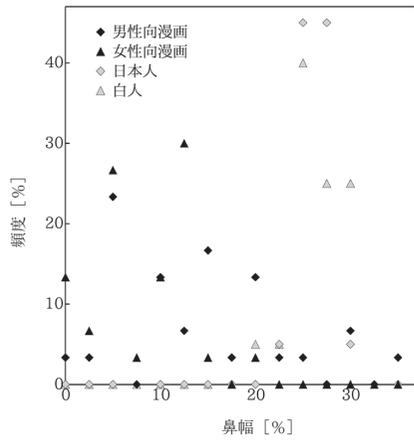


図6 鼻 幅

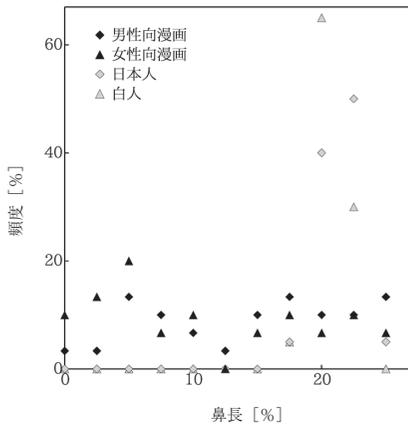


図7 鼻 長

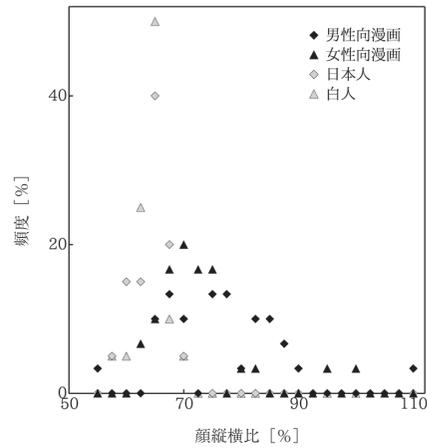


図8 顔縦横比

青い瞳の組み合わせが1例だけあった。

男性向け漫画の肌の色は、日本で言うところの肌色が93%、桃色と白色が各3%だった。これも大多数が日本人と一致する。

一方女性向け漫画では髪と瞳の色が多彩で、簡単には日本人に近いとも白人に近いとも言えない。女性向け漫画の登場人物の髪の色は、黒色が30%、茶色と金色が各23%、桃色、銀色、白色が各3%、そして色が一定せず描かれる度に変化する登場人物が13%あった。筆者らはこの色の変化に注目したい。髪の色は実に多彩に描かれ緑や紫など、生来の人間にはあり得ない色になることも珍しくはない。このことは髪の色が日本人や白人の生来の色モデルにしているのではなく、その場のおしゃれの一部として描かれているに過ぎないということ示唆している。

瞳の色にも同様の傾向が現れている。女性向け漫画の瞳の色は、黒色が33%、茶色が23%、青色と緑色が各10%、金色が7%、銀色が3%、そして色の変化する登場人物が13%あった。緑色、金色、銀色は人類の瞳の色として一般的とは言えない。おしゃれで瞳の色を変えるにはカラーコンタクトレンズを使うという方法もあるが、髪の色ほど手軽に変えられる訳ではない。しかし漫画の世界であればその日の気分で簡単に瞳の色を変えることもできる。

女性向け漫画の肌の色は、白色が47%、肌色が33%、褐色と桃色が各3%、色の変化する登場人物が13%あった。白色は日本でも古来から色白の人がおり、特に女性では「色白は七難を隠す」と好まれてきた。従って、白い肌の色からは日本人をモデルにしているとも白人をモデルにしているとも言えない。

#### § 4. まとめ

男性向け人気漫画の主要登場人物30名と女性向け人気漫画の主要登場人物30名について、顔に占める目口鼻の寸法の比率、顔の縦横比、髪瞳肌の色を分析した。その結果次のことが分かった。

- (1) 顔に占める目口鼻の寸法の比率および顔の縦横比は、漫画の登場人物が日本人か白人かのどちらか片方に近いということはなく、実在の人間とはかけ離れた傾向を示した。
- (2) 男性向け漫画の髪、瞳、肌の色は日本人に近い。
- (3) 女性向け漫画の髪と瞳の色は多彩であり、人類には本来あり得ない色もしばしば描かれる。また同じ登場人物がその時々によって異なる色で描かれることも珍しくはない。従ってこれらの色は日本人か白人かのどちらか片方をモデルにしているというよりは、おしゃれの一部として描かれていると考えられる。

以上のことから、「漫画の登場人物が日本人設定であっても白人をモデルとして描かれている」という説は何ら根拠が見出せなかった。

#### 謝 辞

英文題名および英文要旨に関して山口常夫教授の有益な助言に感謝する。本研究は山形大学教育研究基盤校費ならびに筆者らの私費によって行われた。

#### 文 献

- 1) 社団法人全国出版協会・出版科学研究所『2010出版指標年報』(2010).
- 2) フレデリック L. ショット『ニッポンマンガ論』マール社(1998) 56-57.
- 3) 京都精華大学情報館, *KINO* 1 (2006).
- 4) 日販報道発表「日販 横山光輝「三国志」検定をサポート」2010年8月10日
- 5) 「「劇場版BLEACH」入場者プレゼントが原作者描き下ろし限定コミックスに決定」マイコミジャーナル 2010年10月9日
- 6) 新潮社「「週刊コミックバンチ」セールスシート」2009年8月20日
- 7) 「H2～君といた日々 DVD-BOX」商品情報, JBOOK (2005).
- 8) 毎日新聞デジタルまんたんウェブ 2008年4月2日
- 9) 「「金田一少年」、「神の雫」の原作者が株と家族の小説」朝日新聞コミミ口コミマンガプラス 2007年11月16日
- 10) 毎日新聞 2007年8月20日夕刊
- 11) 「のだめカンタービレ:天才ピアニストの活躍に幕 連載誌「Kiss」次号で」毎日新聞デジタルまんたんウェブ 2009年9月25日
- 12) 「一条ゆかりさんデビュー 40年 マンガ 道楽にしたい」読売新聞 2008年7月30日
- 13) 斎田亨彦「マンガのNo.1」*日経エンタテインメント!* 2000年7月号(2000) 48.
- 14) 「スケバン刑事 コードネーム=麻宮サキ」テレビ東京CINEMA STREET (2006).

- 15) バンダイ報道発表 「ベルサイユのばら ～歩いて自・分・革・命 生まれてきてよかった!!～」2009年9月8日
- 16) 「木曜ドラマ「エースをねらえ！」」番組情報, テレビ朝日 (2004).
- 17) 「花ざかりの君たちへ イケメン♫パラダイス」番組情報, フジテレビ (2007).
- 18) 「裏ピーチガール」作品紹介, 講談社コミックプラス (2005).
- 19) 「TV animation X ～カード オブ フェイト～」商品情報, YAHOO! ゲーム (2002).
- 20) イーフロンティア報道発表 「「ちょびっツ～ちい、目覚める。～」新発売のお知らせ」  
2002年7月5日
- 21) 中原アヤ『ラブ★コン』17帯, 集英社 (2006).
- 22) バンダイビジュアル報道発表 「TVシリーズ『美少女戦士セーラームーン』のDVD&  
ビデオを3月26日より発売」2004年3月24日
- 23) 「DVD 花のあすか組NEO!」商品情報, GPミュージアムソフト (2009).
- 24) 「“最も美しい” 男性ランキング」オリコン (2009).
- 25) 「“最も美しい” 女性ランキング」オリコン (2009).
- 26) 「100 MOST beautiful」*People* 71 (18) (2009) 55-136.

## Summary

### MIURA Naoyuki, YAMAMOTO Hiroshi : Analysis of Characters' Faces in Japanese Manga

There is a hypothesis that most characters in Japanese manga are modeled on the white races even if they are Japanese. In order to verify this hypothesis, (1) the ratios of eyes, mouths and noses to the faces, (2) the aspect ratios of length and breadth of the faces, and (3) the colors of hair, irises and skin of the sixty main characters in sixty popular manga were analyzed, and then compared to those of the Japanese and the White.

As a result, (1) and (2) did not fit either the facial features of the Japanese or the White. They are completely different from existent features. Then, (3) turned out to fit those of the Japanese in manga for male readers, while those in manga for females varied including nonexistent colors of hair and irises. In addition, the same characters in manga for females are often drawn in unexpectedly different colors.